

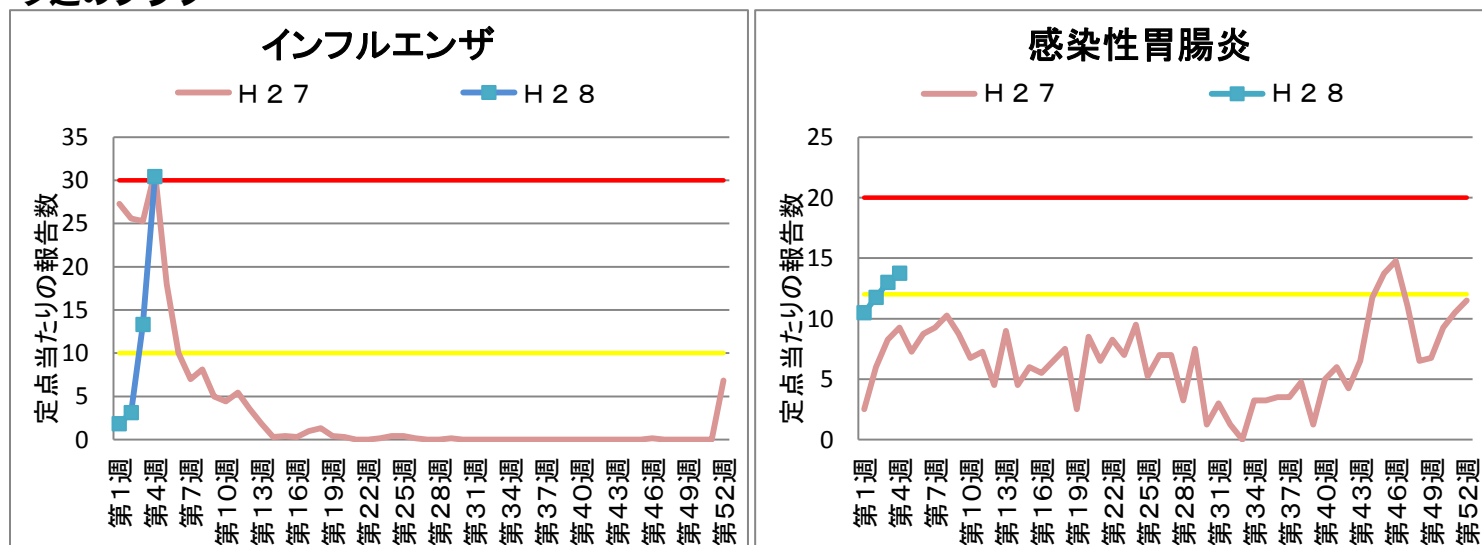
乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 4 週 平成28年1月25日 ～ 平成28年1月31日

今週のコメント

- 第4週(1月25日～31日)の1定点医療機関当たりのインフルエンザに罹患された方の報告数が増加し、警報レベルの30を越えました(30.43)。全国のウイルス分離では、A(H1)pdm09が最も多く約6割をしめ、次いでB(ビクトリア系統)、B(山形系統)で、昨シーズン主流であったA(H3)は3%のみとなっています。
- 今週(2月1日～)に入り、保育所・保育園・幼稚園の欠席者情報システムでも、さらにインフルエンザで欠席されるお子さんが増加しています。
- 感染を予防するために手洗い・うがいを心がけ、咳症状がある時はマスクをしましょう。
- 熱が出たときは無理をせず、医療機関を受診し、ゆっくり休養しましょう。

今週のグラフ



* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	30.43	手足口病	-
RSウイルス感染症	1.25	伝染性紅斑	1
咽頭結膜熱	-	突発性発しん	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.5	百日咳	0.25
感染性胃腸炎	13.75	ヘルパンギーナ	-
水痘	-	流行性耳下腺炎	0.25

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

参考資料等

報告週対応表

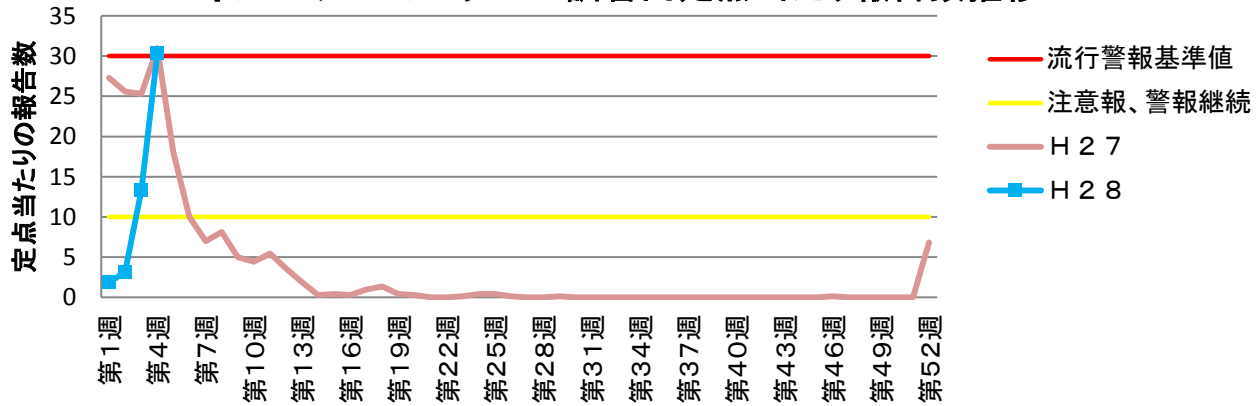
警報・注意報基準値の説明

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

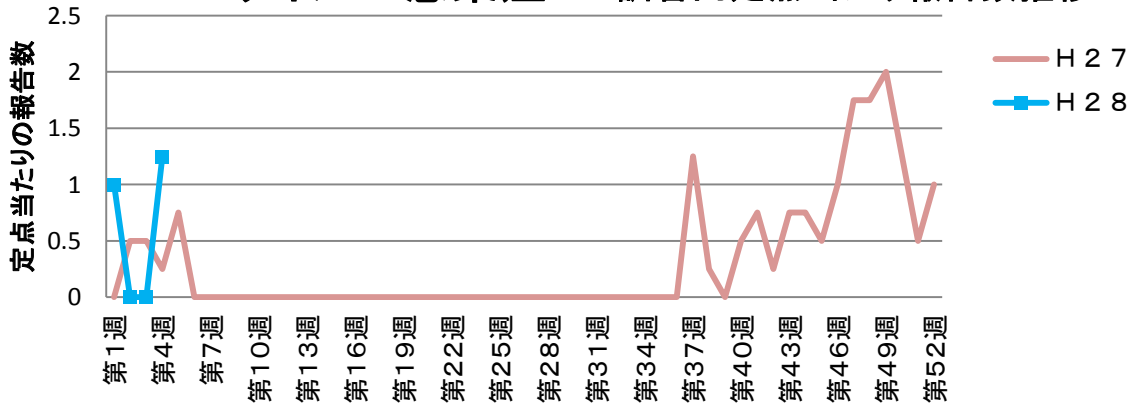
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide05.html>

定点報告による各疾病の推移

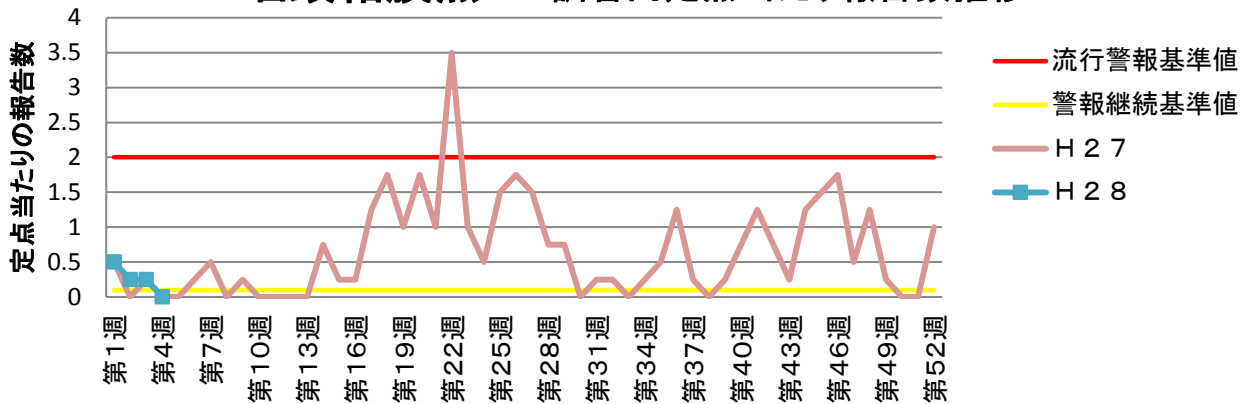
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



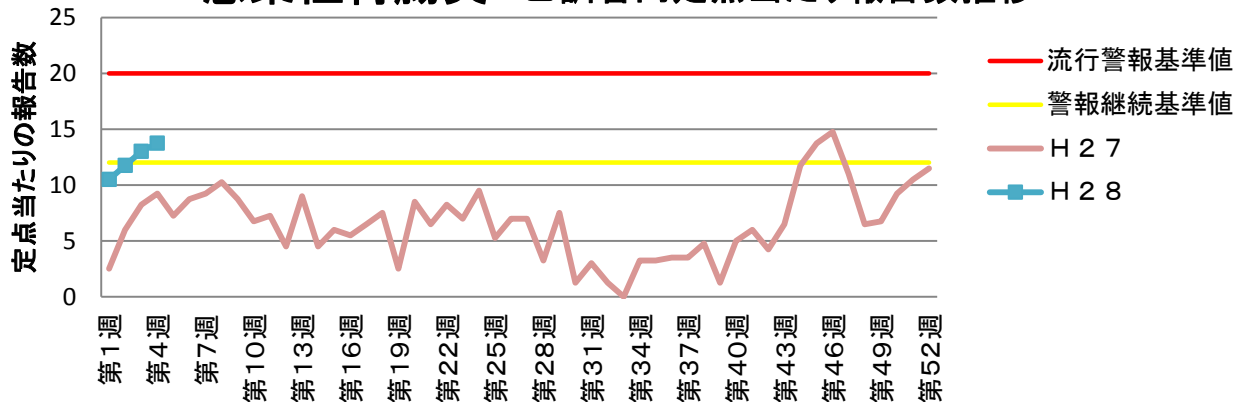
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



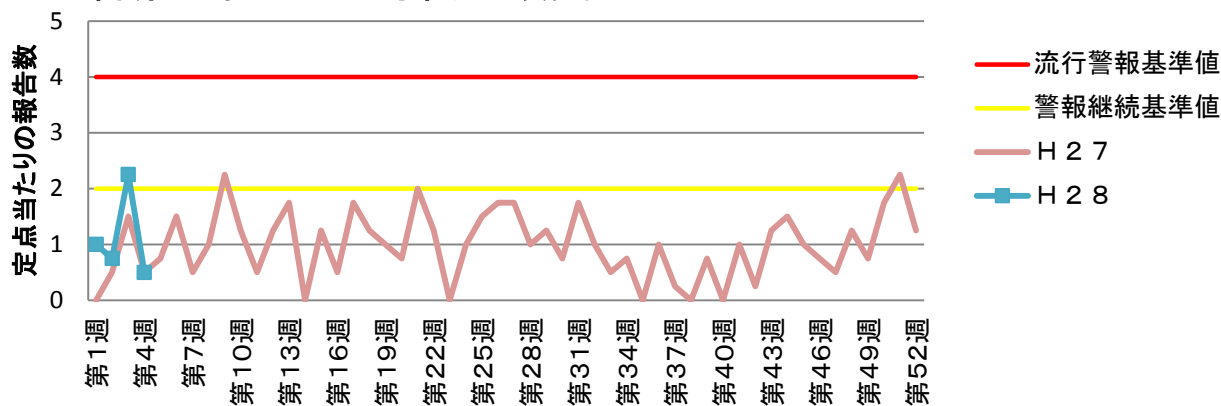
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



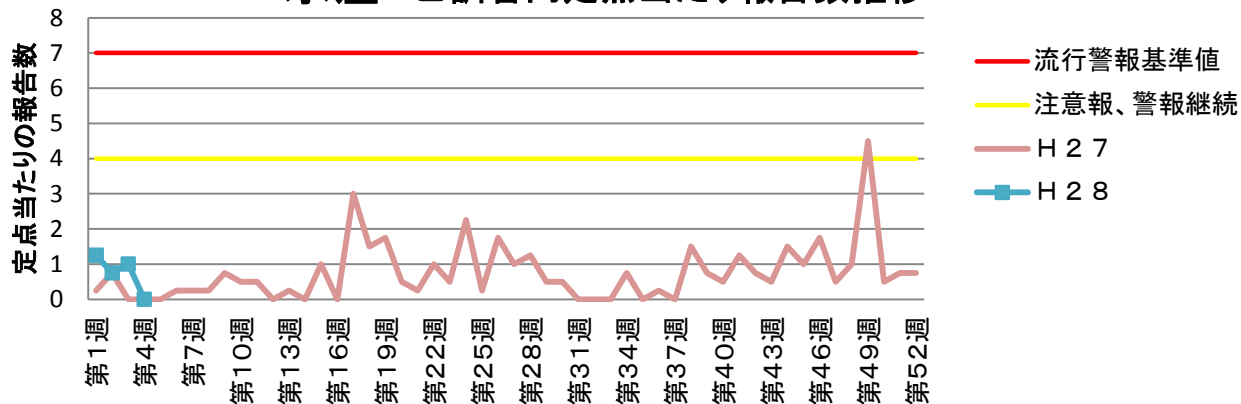
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



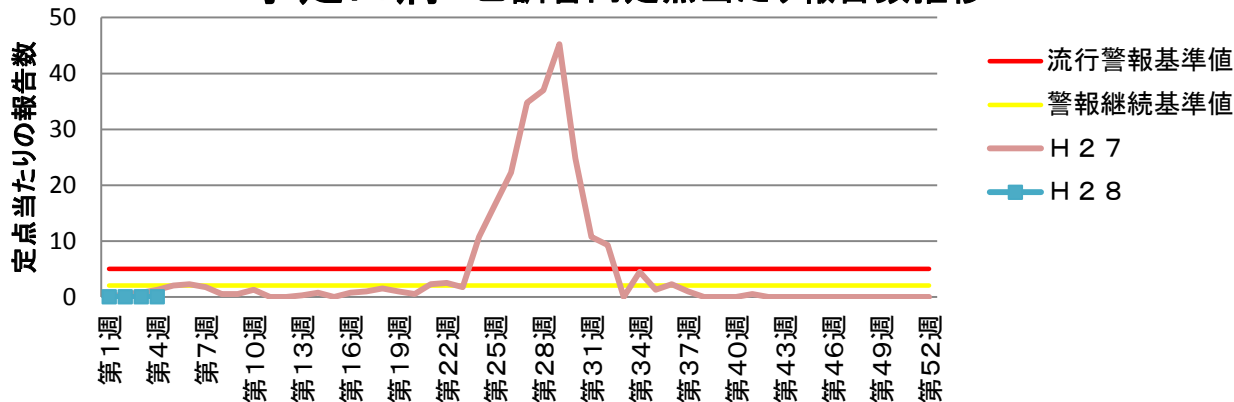
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



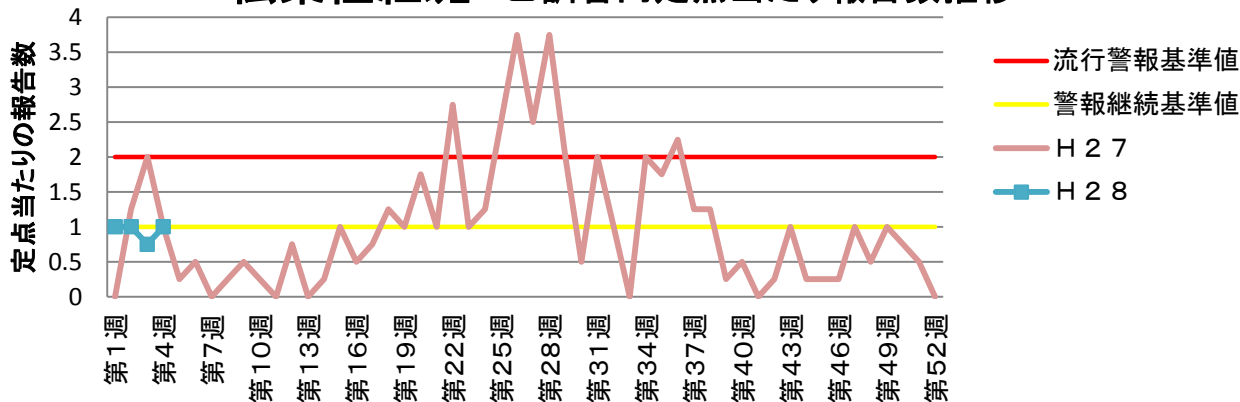
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



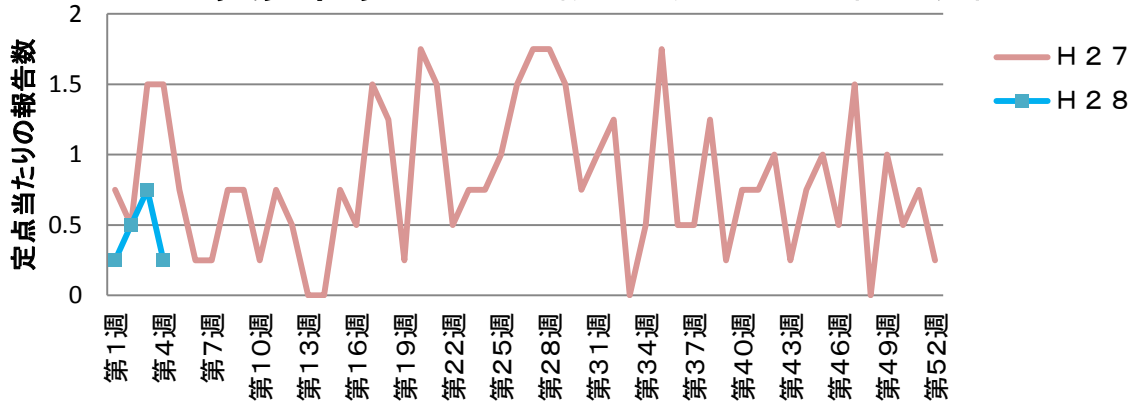
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



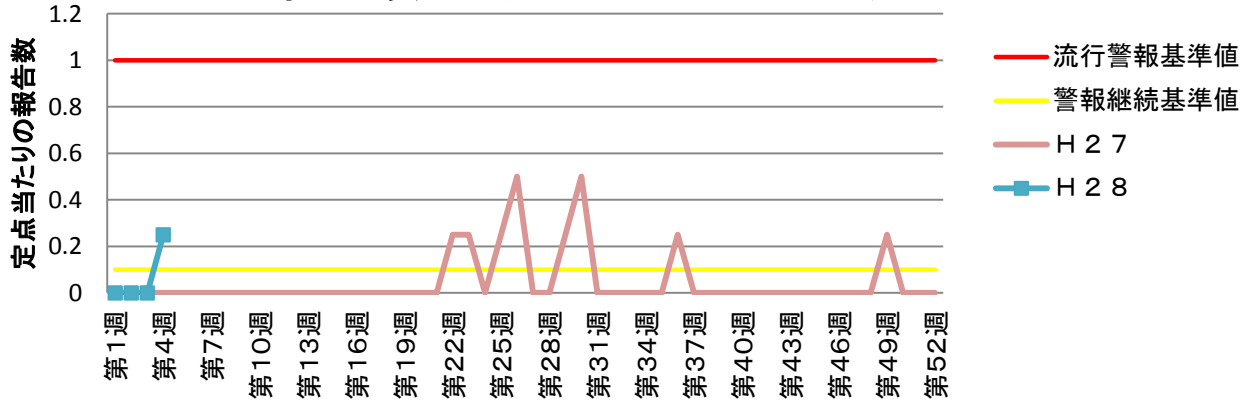
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



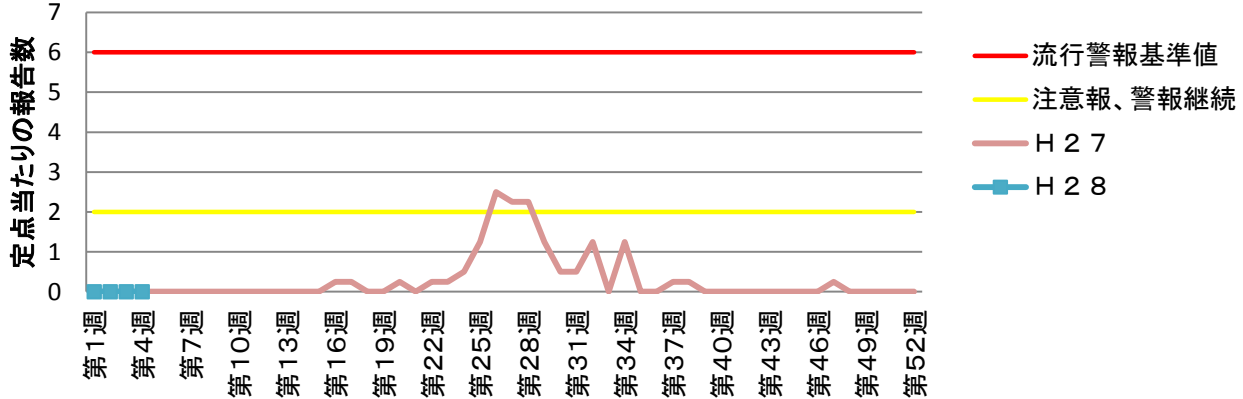
突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

